

報道関係各位

子どもの防犯対策「地域安全マップづくり」を実施

本市では、子どもの防犯対策として、地域・大学・警察・行政が協働し、子どもたちに危ない場所を知ってもらい、自ら、その場所に近づかないなどの安全・安心の知識を学んでもらうため、「地域安全マップづくり」を実施しております。

この度、霧丘校区まちづくり協議会から依頼を受けて、地域安全マップづくりを霧丘市民センターにて実施することとなりましたのでお知らせいたします。

「地域安全マップづくり」とは

「犯罪が起きにくい場所」と「犯罪が起きやすい場所」を洗い出して地図にしたもので、立正大学文学部社会科学の小宮信夫教授が考案したものです。

子どもの安全対策を図るため、実際にまちを観察して、地図を作成することで、「どこの場所が危ないか」ではなく、「どういった場所が危ないか」を知ってもらいます。

子どもたち自身の危機回避能力やコミュニケーション（問題解決）能力の向上、さらに地域への愛着、非行防止、地域との危険箇所情報の共有化などにもつながります。

<実施概要>

実施日時	令和5年7月9日（日） 10:00～15:00
場所	霧丘市民センター（小倉北区黒原2丁目30番30号）及び近隣区域
対象（参加予定数）	小学生 約10名、大人 約40名
学生ボランティア	北九州市立大学 防犯防災プロジェクト「MATE'S」 ※学生がマップ作りを指導します。

<内容（予定）>

時間	内容
10:00～10:30	事前学習
10:30～12:00	フィールドワーク
13:00～14:30	マップづくり
14:30～15:00	発表・事後学習

※取材ご希望の際は必ず事前に霧丘市民センターへご連絡ください。

霧丘市民センター（093-922-7365）

※少雨決行ですが、荒天時は中止する可能性があります。



フィールドワークの様子

<今後の実施予定>

令和5年9月以降、依頼のあった市内小学校で実施予定。

【問い合わせ先】

市民文化スポーツ局
安全・安心推進課 印・濱本
TEL：093-582-2911